旭川市科学館報

―平成２９年度版―

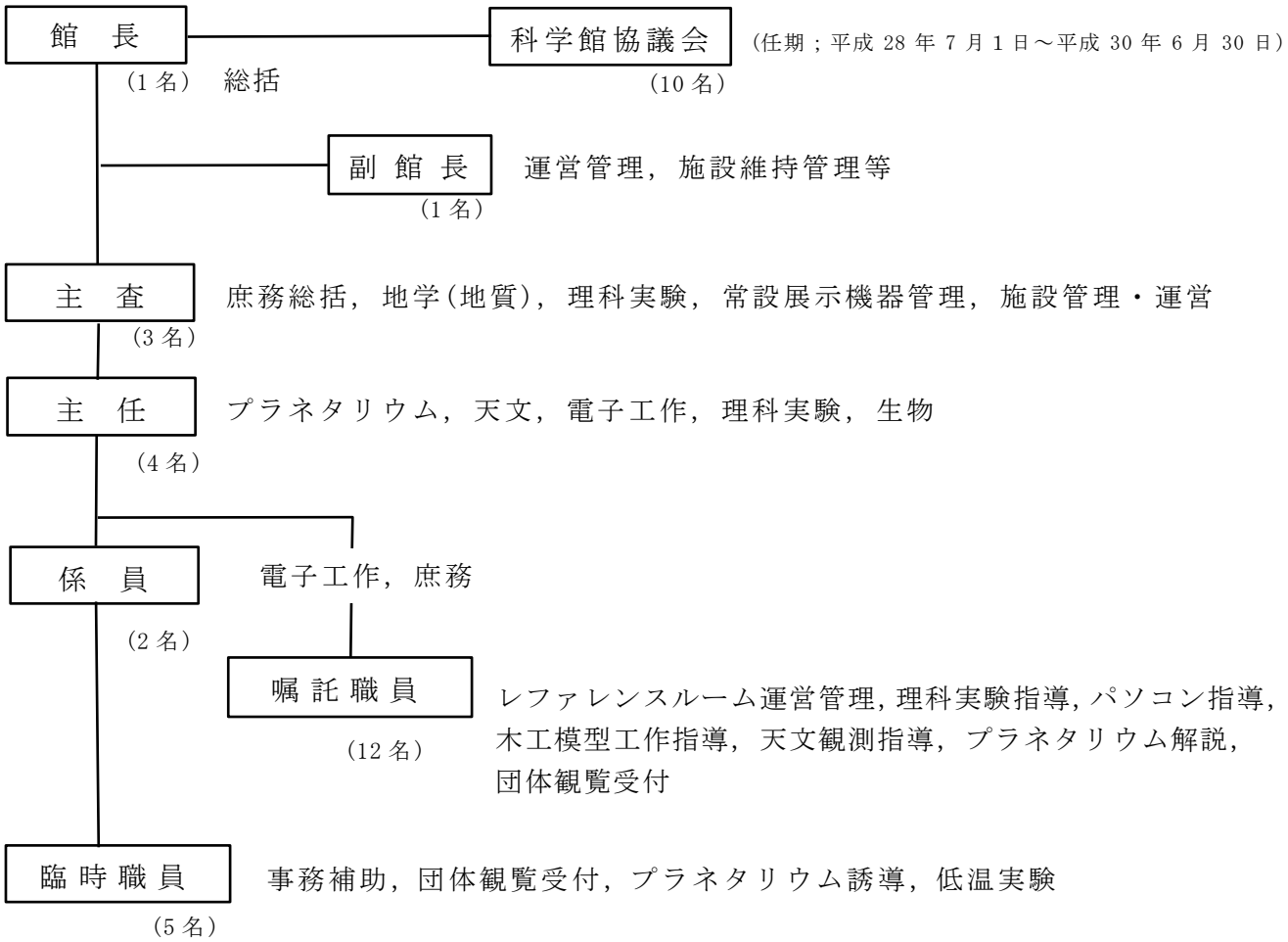
Vol.10
平成30(2018)年

旭川市科学館

目　　次

運営組織及び職員数　1
Ⅰ　旭川市科学館の概要
1　考え方 …… 2
2　概要 …… 2
3　沿革 …… 2
4　施設の概要 …… 3
Ⅱ　平成 29 年度事業活動報告
1　利用状況 …… 5
2　常設展示事業 …… 6
3　特別展示事業 …… 7
4　実験実習事業 …… 8
5　天文普及事業 …… 14
6　学校連携事業 …… 19
7　共催事業 …… 21
8　その他貸室事業等 …… 21
9　情報提供活動 …… 22
10　広報活動 …… 22
Ⅲ　サイエンスボランティア旭川の活動
1　概　　要 …… 23
2　平成 29 年度従事者数 …… 23
3　活動の内容 …… 23
Ⅳ　旭川市科学館利用案内
1　観　覧　料 …… 25
2　開 館 日 等 …… 26

運営組織及び職員（平成３０年４月１日現在）



科学館職員　計 28 名

Ⅰ　旭川市科学館の概要

1　考え方

旭川市科学館「サイパル」は，子供達をはじめ多様な方々に，様々な科学に関する情報を伝え，科学への関心，理解を深めることを目的としています。

今日，学習普及活動においても分野にとらわれない柔軟な取組が必要とされており，環境問題など新たな課題に対応するため，個々の科学分野を超えて横断的・学際的な取組が求められています。その中で旭川市科学館では，物理学，化学，生物学，地学など，あらゆる自然科学分野を対象とする多彩な活動を進めていきます。

2　概要

サイパルは「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置しています。

敷地内には，鳥や昆虫などが観察できる野外自然観察空間が設けられており，神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ，のびのびとした空間で自然科学を学ぶことができることが大きな特徴です。

また，多くの方々が利用する常設展示室や特別展示室，プラネタリウムなどを 1 階に，実験実習室などを２階にそれぞれ配置し，子供から高齢者，ハンディキャップを持つ方々など，誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

駐車場の排雪を利用した雪冷房システムの導入など環境にも配慮し，人と環境に優しい科学館として運営しています。

科学の不思議さを表現したシンボル展示「水竜」，国際家具デザインフェア旭川コンペティション入選作品など美しい地場木製家具の「旭川家具」を配置し，特色ある空間づくりにも配慮しています。

3　沿革

昭和 38 年 11 月 3 日　旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成 17 年 1 月 30 日　新築移転のため閉館
平成 17 年 7 月 23 日　旭川市科学館「サイパル」として現在地に移転，開館
平成 17 年 8 月 13 日　入館者 10 万人を達成
平成 18 年 5 月　4 日　入館者 50 万人を達成
平成 19 年 8 月 10 日　入館者 100 万人を達成
平成 23 年 3 月 13 日　入館者 200 万人を達成
平成 26 年 11 月 9 日　入館者 300 万人を達成
平成 27 年 7 月 23 日　新館開館 10 周年

旭川市科学館外観

4　施設の概要

（１）旭川市科学館

・所　在　地　旭川市宮前１条３丁目３番32号

・敷地面積　27,099.65 ㎡

・延床面積　　5,799.60 ㎡(車庫棟・雪室棟を除く)

〔内訳〕　○常設展示室・特別展示室，サイエンスシアター　約 1,780 ㎡

○プラネタリウム　約　375 ㎡

○天文台　約　90 ㎡

○実験実習室ほか　約　655 ㎡

○共用・管理運営関係　約 2,900 ㎡

・構　　造　鉄筋コンクリート造，一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造，４階建

・総事業費　48億1,432万3千円(用地購入費，一部外構工事等除く)

（２）各室の内訳

１階	常設展示室(サイエンスシアター含む)	約 1,600 ㎡，(3)常設展示室詳細参照
	特別展示室	約 180 ㎡，各種の特別展を開催
	プラネタリウム	(5)プラネタリウム詳細参照
	学習・研修室	約 150 ㎡，126 席，視聴覚機器敷設
	エントランスホール	観覧受付,シンボル展示，休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
２階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習， 自主研究用に各種資料を開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2か所）
	空調機械室，熱源機械室等	
３階	発電機室	※一般開放スペースはない
４階	天文台（２基)，観測デッキ等	(4)天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両 76 台，大型バス 6 台，身障者用駐車場 5 台，自転車 100 台
	エントランス広場，円環広場	休憩・昼食場所，野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間	約 5,000 ㎡，在来種の雑木林,トンボ池，野外展示 2 基など自然観察スペースに活用

（３）常設展示室詳細

Ⅱ　平成29年度事業活動報告を参照

（４）天文台詳細

・位　　置：北緯 43 度 45 分 23 秒　東経 142 度 22 分 13 秒　標高 143m

・面　　積：173 ㎡（うち大天文台 50 ㎡，小天文台 19 ㎡，準備室 20 ㎡，その他 84 ㎡）

・大天文台：ドーム直径 8m，口径 65 ㎝　カセグレン式反射望遠鏡（三鷹光器製）及び付属望遠鏡 2 基設置，光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム

・小天文台：ドーム直径 5m，口径 20 ㎝　屈折望遠鏡（三鷹光器製）及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡 2 基設置，太陽投影板・太陽用Ｈαフィルター。太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム

・観測デッキ：口径 10 ㎝の移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察。

（５）プラネタリウム詳細

・面　　積：670 ㎡(客室 232 ㎡，プロジェクションギャラリー112 ㎡，ロビー228 ㎡，その他 98 ㎡)

・ド　ー　ム：直径 18m，水平型・平面床，170 席（うち 2 人掛け椅子 5 脚，通常時同心円配列・映像投影一部回転式）

・投　影　機：カール・ツァイス社製スターマスターＺＭＰ（コンピュータ制御，光源・光ファイバー式），全天周ドーム映像装置など付設

・特　　徴：生解説によるマニュアル投影，我が国初（導入当時）のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機及び，同心円配列の座席としては，全国で初めて回転可動式座席を導入。

天 文 台

大 型 望 遠 鏡

プラネタリウム

Ⅱ　平成 29 年度事業活動報告

※人数欄の（）は再掲等

1　利用状況

内訳 / 月	常設展示室	プラネタリウム	天文台	事業活動等参加者	その他	平成 29 年度合計	平成28年度
4	8,625	3,776	1,562	4,860	299	19,122	21,107
5	9,638	4,476	1,676	4,585	159	20,534	24,880
6	8,245	3,601	1,106	3,111	147	16,210	14,220
7	12,654	4,693	1,324	6,790	171	25,632	25,056
8	21,151	4,858	2,584	25,974	41	54,608	37,317
9	6,910	3,593	944	2,395	213	14,055	16,358
10	5,562	2,592	803	2,794	1,566	13,317	17,979
11	9,245	3,729	832	4,963	478	19,247	13,454
12	3,276	1,605	232	2,649	71	7,833	8,025
1	5,824	984	474	7,478	1,083	15,843	14,934
2	2,599	1,182	300	1,346	417	5,844	7,514
3	6,692	3,042	1,040	2,225	610	13,609	16,246
合計	100,421	38,131	12,877	69,170	5,255	225,854	217,090

※平成 29 年度の 1 日平均入館者数：708 人／日（開館日：319 日）

最近１０年間の科学館入館者数一覧（平成 20 年度～平成 29 年度：延べ人数）

年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	各種事業他	計	備　考
H20	125,692	67,265	34,243	57,516	284,716	
H21	117,179	60,690	24,274	63,340	265,483	
H22	130,229	64,828	19,087	84,896	299,040	6 月～9 月無休開館実施
H23	131,268	66,611	15,576	78,600	292,055	
H24	115,940	60,930	13,959	63,726	254,555	
H25	120,877	62,656	16,667	61,166	261,366	
H26	110,264	54,242	13,420	54,500	232,426	
H27	113,324	49,491	15,163	70,161	248,139	
H28	100,312	46,873	13,350	56,555	217,090	
H29	100,421	38,131	12,877	74,425	225,854	

常 設 展 示 室

２　常設展示事業

北国・地球・宇宙の３つをテーマとした全４６点の体験型の化学模型，キッズコーナー，科学に関する２Ｄ・３Ｄ映像を上映するサイエンスシアターを展示。

コーナー		展　示　名
北国		北国の動物はなぜ大きい？／氷河期と海面変位／虫の目から見た自然／雪の結晶／ナダレンジャー／北国の天気／旭川ズームイン！／水滴のダンス／低温実験室　全９点
地球		身体ズームイン／内臓パズル／呼吸のしくみ／人体スキャン／消化器のはたらき／表情の不思議／生命の誕生／風をおこそう／ロボットサッカー／ボールコースター／電磁サークル／スケスケマシン／手さぐりの通路／錯覚の部屋／光のサッカー／ジャンボシャボン／空中スクリーン／光の三原色／影で遊ぼう／バーチャルフライト／スピードガン／ボディーアタック／地震体験／火山をつくろう／雲をつくろう／対流をみよう！／人類の進化／地球環境問題クイズ／燃料電池のしくみ／温暖化から地球を救え／大陸移動　全 31 点及びキッズコーナー
宇宙		ムーンジャンプ／宇宙ゴマ／月の満ち欠け／星の回転運動／宇宙旅行／クイズスペース１　全６点
サイエンスシアター	３Ｄ	北国　雪の結晶／大雪山の成り立ち／エゾモモンガ
		地球　巨大台風／オーロラ　その神秘に迫る／氷河と地球温暖化
		宇宙　宇宙ステーション／毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星／暗黒の世界　ブラックホール
	２Ｄ	北国　石狩川夢の旅人
		地球　謎の深海底
		宇宙　テラフォーミング～地球から火星へ～

常設展示室観覧者数（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）単位：人

	個　　人					団　　体					人数合計
月区分	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	3,682	62	4,067	204	8,015	49	142	233	186	610	8,625
5	3,912	98	3,423	325	7,758	74	234	1,247	325	1,880	9,638
6	2,248	40	2,021	155	4,464	146	172	2,423	1,040	3,781	8,245
7	4,222	91	4,604	323	9,240	83	0	2,798	533	3,414	12,654
8	8,293	154	8,945	721	18,113	317	2	2,116	603	3,038	21,151
9	2,532	41	1,998	175	4,746	84	22	1,553	505	2,164	6,910
10	2,306	48	2,269	218	4,841	115	0	288	318	721	5,562
11	3,888	25	4,127	166	8,206	100	0	725	214	1,039	9,245
12	1,210	26	1,307	119	2,662	23	0	499	92	614	3,276
1	2,390	31	2,573	225	5,219	38	0	476	91	605	5,824
2	1,310	16	992	120	2,438	20	0	93	48	161	2,599
3	2,985	123	2,918	246	6,272	60	2	272	86	420	6,692
年度合計	38,978	755	39,244	2,997	81,974	1,109	574	12,723	4,041	18,447	100,421

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70 歳以上・引率者・介護者・行政視察等）

３　特別展示事業

「コロッ・クルの夏休み／コロッ・クルの冬休み」

多数の来館者が見込まれる長期休暇中に，無料開放型のワークショップや実験ショー，講演会など一連の事業を集中的に実施。

＜夏休み＞

実施期間	平成 29 年 7 月 27 日～8 月 20 日（開催期間 25 日間）
参加者数	27,561 人
内容	プラネタリウム特別上映「妖怪ウォッチ」，夏休みかんたん工作，手作り乾電池教室,モクモクスタジオ,エネゴン＆燃料電池自動車体験会，コズミックカレッジ，子どもデザイン教室，おもしろ？時計を作ろう，恐竜はかせのトークライブ，－196℃何でも凍らす液体？，サイパル夏縁日，大学生とゲーム対決，ドローン体験

＜冬休み＞

実施期間	平成 29 年 12 月 23 日～平成 30 年 1 月 16 日　※休館日は除く （開催期間 17 日間）
参加者数	7,014 人
内容	プラネタリウム特別上映「妖怪ウォッチ」「宇宙兄弟」，冬休みかんたん工作，親子で作る木の工作室，特別サイエンスショー「ぴかぴか実験」，キッズ電子工作，冬休み天文教室，とんとん教室，冬休みかんたん実験工作室，科学で遊ぶ「冬」，理科実験マスター教室，子ども科学博士，高校生のサイエンスショー「空気の世界を見てみよう」，親子かんたん電子工作室，ジオフェスティバル in 旭川

４　実験実習事業（主なものを掲載）

（１）体験教室・講座

ア　科学館クラブ（前・後期）

	クラブ名	内　容	対　象	定　員	延べ人数	開催日
前期	星・宇宙	季節の星座や一等星，惑星の解説と望遠鏡による観測	小学3年～中学生の親子	10 組	81 人	５月～９月（５回）
	理科（木）	10 テーマの実験や観察	小学４年～５年生	16 人	81 人	５月～９月（各 10 回）
	理科（日）			16 人	114 人	
	科学工作(木)	ソーラー照明時計の製作		16 人	49 人	
	科学工作(土)			16 人	146 人	
	パソコン	パソコンの使い方，利用方法		16 人	138 人	
	実験・木工	理科実験と木工作	小学６年～中学生	16 人	91 人	
後期	星・宇宙	季節の星座や一等星，惑星の解説と望遠鏡による観測	小学3年～中学生の親子	10 組	99 人	11 月～翌３月（５回）
	理科（日）	10 テーマの実験や観察	小学４年～５年生	16 人	117 人	11 月～翌３月（各 10 回）
	科学工作(土)	ラジオ付き本立ての製作		16 人	146 人	
	パソコン	パソコンの使い方，利用方法		16 人	130 人	
	実験・電子	理科実験と電子工作	小学６年～中学生	16 人	106 人	

イ　親子でチャレンジ！わくわく実験室（前・後期）

	内　容	対　象	定　員	延べ人数	開催日
前	親子で簡単な実験実習を体験（前期全５回，後期全６回）	小学２～３年生の親子	40 組	360 人	5 月～7 月
後			40 組	434 人	11 月～翌 2 月

ウ　旭川少年少女発明クラブ

内　容	対　象	定　員	延べ人数	開催日
アイディア工作，基礎工作，科学の夢絵画の制作など	小学３年～中学生	20 人	308 人	6 月～翌 3 月 (20 回)

エ　サイエンスセミナー

回	内　容	参加者数	開催日
1	岡田弘名誉館長サイエンス・ツアー 旭川周辺のジオ・パーク構想について学ぶ	32 人	8 月 28 日
2	「宮沢賢治と火山」 講師：岡田　弘名誉館長（北海道大学名誉教授）	50 人	1 月 14 日
3	「続々見つかる「第二の地球」候補 -宇宙生命への期待-」 講師：渡部　潤一顧問（国立天文台副台長）	113 人	6 月 11 日
4	「日本人初の恐竜学者によるトークライブ」 講師：小林　快次顧問（北海道大学准教授）	(80 人)	８月７日

講演会	開催日	場　所	人数	概要
野鳥講演会	4月8日	大雪クリスタルホール	133人	野鳥の専門家を招き，野鳥の魅力について話を聞き，自然保護の理解を深める。
サイエンスリポート	9月23日	サイエンスシアター	10人	上川盆地の地質の見どころと楽しみ方について学芸員が解説
講演会「“ケナガマンモスゾウ”」がやって来た！	9月17日	学習･研修室及びエントランスホール	40人	ナウマンゾウとマンモスゾウいついて解説

オ　こども科学博士

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	あま～いお菓子のひみつ	小学1～3年生と保護者	10組	28人	8月 6日
2	草木染めでオリジナルハンカチづくり		10組	12人	10月29日
3	シュワシュワ大作戦		20組	(30人)	1月8日
4	手作りうどんに挑戦		10組	20人	3月25日

カ　理科実験マスター教室

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	まるで生き物みたいな実験	小学6年～中学生	10人	2人	8月3日
2	くさすぎ注意報		10人	(2人)	1月7日

キ　パソコン基礎講座

回	内　容	対　象	定　員	延べ人数	開催日
1	たのしくパソコン～パソコンの使い方を習得し，生活に利用しよう。(各全10回)	高齢者	10人	97人	5月～7月
2			10人	80人	8月～10月
3			10人	93人	1月～3月
4	特別講座「Word編」(全３回)		10人	24人	11月16日～18日
5	特別講座「Excel編」(全３回)		10人	29人	3月22日～24日

ク　地学体験学習

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	大人のための宝石みがき（１回目）	大人	15人	16人	6月28日
2	化石クリーニング体験	小学５年生～高校生	10人	5人	7月29日
3	親子アンモナイトクリーニング体験	小学３年生以上と保護者	10人	9人	9月30日
4	有孔虫の化石を取りだそう！	小・中学生	10人	10人	1月8日

5	アンモナイトのペーパーウェイトづくり	大人	10 人	9 人	1 月 24 日
6	親子アンモナイトクリーニング体験	小学３年生以上と保護者	10 人	8 人	2 月 24 日
7	大人のための宝石みがき（２回目）	大人	15 人	15 人	3 月 8 日

ケ　低温実験室運営

内　容	参加者数	開催日
氷点下 30℃になる低温実験室で，過冷却水やダイヤモンドダストの観察実験等を実施	3,989 人	休館日を除く土日（合計 101 回）

サイエンスセミナー

たのしくパソコン

（２）ものづくり教室

ア　市民木工教室

回	内　容	対　象	定　員	延べ人数	開催日
1	踏み台の製作	大人	10 人	18 人	5 月 13 日～14 日
2	花器の製作		16 人	20 人	7 月 22 日～23 日
3	木馬の製作		16 人	30 人	10 月 21 日～22 日
4	小いすの製作		10 人	20 人	2 月 24 日～25 日
5	親子ヤジロベエの製作		16 人	8 人	3 月 17 日

イ　親子で作る木の工作室

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	ゴムでっぽうの製作（2 回実施）	小学３・４年生と保護者	各 10 組	14 人	8 月 11 日
2	飾り棚の製作（2 回実施）		各 10 組	（38 人）	12 月 23 日

ウ　とんとん教室

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	リモコンラックの製作 （2 回実施）	小学４年～中学生	各 10 人	16 人	7 月 28 日
2	万年カレンダーの製作 （2 回実施）		各 10 人	（20 人）	12 月 28 日

エ　大人の電子・木工教室

回	内　容	対　象	定　員	延べ人数	開催日
1	LED あんどんの製作	大人	10 人	6 人	9 月 16 日 ～17 日

オ　大人のための電子工作

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	ゲルマニウムラジオの製作	大人	10 人	4 人	5 月 21 日
2	多機能ライトラジオの製作		10 人	6 人	7 月 17 日
3	デジタルアラーム時計の製作		10 人	2 人	10 月 9 日
4	LED ライトの製作		10 人	5 人	11 月 23 日
5	調光ライトの製作		10 人	8 人	3 月 11 日

カ　キッズ電子工作

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	LED ライト付きラジオの製作	小学４年～中学生	10 人	6 人	5 月 5 日
2	ＡＭ／ＦＭラジオ付き LED ライトの製作		10 人	9 人	7 月 30 日
3	メッセージファンの製作		10 人	3 人	8 月 5 日
4	ライントレースカーの製作		10 人	9 人	8 月 9 日
5	オルゴールごまの製作		10 人	（8 人）	12 月 26 日
6	LED ライトの製作		10 人	（9 人）	1 月 7 日

キ　夏・冬休みかんたん実験工作室

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	プロペラカーの製作 （2 回実施）	小・中学生 （小学 3 年生以下は保護者同伴）	各 10 人	（32 人）	8 月 13 日
2	ソーラーオルゴールの製作 （2 回実施）		各 10 人	（34 人）	1 月 6 日

ク　糸のこ体験工作

内　容	対　象	参加者数	開催日
木のキーホルダー作り	どなたでも （小学 3 年生以下は保護者同伴）	104 人	1 月 19 日 ～3 月 23 日

ケ　親子かんたん電子工作室

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	ミニソーラーカーの製作	小学1～3年生と保護者	10組	20人	8月8日
2	ぷるぷる・テントウムシの製作		10組	(18人)	1月12日

（３）野外活動

ア　自然観察会

回	内　容	対　象	定　員	人　数	開催日
1	化石採集会	小学生以上(小3以下は保護者同伴)		44人	6月17日
2				55人	6月25日
3	子連れお散歩自然観察会	未就学児童と保護者	20人	15人	9月7日
4	大人のための自然観察会	大人	20人	14人	9月10日
5	サケ遡上見学	小学生以上(小3以下は保護者同伴)	15人	19人	10月29日

（４）科学イベント

ア　サタデーサイエンスひろば

毎週土曜日に，当日の来館者を対象としたサイエンスショーなどを開催。

内　容	対　象	参加者数	開催日
燃焼の実験など12テーマ（全45回）	どなたでも	3,478人	毎週土曜日

イ　春・秋の科学館まつり

内　容		対　象	参加者数	開催日
春	常設展示室･プラネタリウム無料開放と各種無料体験ブース	どなたでも	3,109人	4月29日
秋			3,184人	11月3日

ウ　サイエンススタジオ

内　容	対　象	参加者数	開催日
発見！音のふしぎランド	どなたでも	2,713人	5月3日～5日
サイパル夏縁日		(9,822人)	8月11日～13日
鉱物・地学		554人	9月23日
綿あめを作って食べよう		188人	11月23日
コロッ・クルのおもちゃ箱		911人	3月21日

（５）　各種行事

ア　科学の夢の図画コンクール・上川地方青少年発明くふう作品展

内　容	参加者数	開催日
科学の図画コンクール 旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト（応募：小学生156人，中学生99人）	(255人)	8月21日 ～9月19日 (募集期間)
上川地方青少年発明くふう作品展 上川地方の小中学生を対象とした発明やくふうをこらした工作作品のコンテスト(上川･旭川創意くふう教育研究会，旭川発明協会との共催)	(29人)	7月30日 ～9月18日 (募集期間)

合同展示会・表彰式（表彰式は 10 日のみ）		1,035 人	10月5日～9日
	展示会	(907 人)	
	表彰（図画）	(54 人)	
	表彰（発明）	(74 人)	

イ　宇宙の日作文絵画コンテスト

内　容	参加者数	募集期間
「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト 応募：作文（小学生 13 人），絵画（小学生 54 人，中学生 45 人）	(132 人)	5月～7月31日
表彰式	45 人	9月23日

ウ　科学技術映像作品上映会

内　容	参加者数	開催日
人間ってすばらしい　チンパンジーが教えてくれる進化の秘密	15 人	7 月 2 日，16 日
日本のチカラ＃６０ つかまれ！のぼれ！～カエルと少女とシュロの糸～	23 人	8 月 6 日，20 日
ＮＨＫスペシャル　シリーズ　ＭＥＧＡ　ＣＲＩＳＩＳ 巨大危機 第１集　加速する異常気象との闘い	9 人	9 月 3 日，17 日
科学のフロンティア ＲＮＡから読み解く生命の不思議	2 人	10 月 1 日，15 日
ガリレオＸ 地球を測る。宇宙を知る。 天文学の原点は紀元前にあり	24 人	11 月 5 日，19 日
野生のいのち 死の連鎖	19 人	12 月 3 日，17 日
最先端ドクター特番 バーチャルリアリティが医療を変える！	21 人	1 月 21 日 2 月 4 日，18 日

エ　ジオカフェ

回　数	開催日	開催場所	参加者数	内　容
第 1 回	11 月 25 日	学習・研修室	31 人	上川盆地周辺における地質について学ぶ
第 2 回	12 月 9 日	学習・研修室	27 人	
第 3 回	1 月 20 日	学習・研修室	27 人	
第 4 回	2 月 10 日	学習・研修室	20 人	
第 5 回	3 月 10 日	学習・研修室	25 人	

オ　いきなりワークショップ

回　数	開催日	開催場所	参加者数	内　容
第 1 回	9 月 17 日	エントランスホール	45 人	来館者が５～１０分程度で体験できる,鉱物標本づくり
第 2 回	9 月 18 日		60 人	

5　天文普及事業

（１）天文台事業

ア　天文台公開

期　間　等	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月（316 日開放）
参加者数	1　利用状況の天文台を参照
内　　容	一般来館者に天文台を開放し，ドーム直径 8 メートルの大天文台では，口径 65 ㎝のカセグレン式反射望遠鏡で主に星の観測，ドーム直径 5 メートルの小天文台では，口径 20 ㎝の屈折望遠鏡で主に太陽の観測を行っている。
実施期間	午前 9 時 30 分～午後 5 時（晴天時は開館時間内常時開放） ※夜間開館延長日等の場合はその開館時間に合わせて開放。

イ　天体を見る会

期　間　等	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月　（計 18 回実施）
参加者数	計 885 人
内　　容	月，土星等の惑星その他の天体の様子を，実際に望遠鏡等を使用して観測するとともに，天文への理解を図る。
実施期間	４月～９月：午後 7 時 30 分～午後 9 時 10 月～3 月：午後 7 時～午後 8 時 30 分 （※日食や月食など，テーマによって開催時間が異なる場合有り）

ウ　星の教室

内　容	対　象	参加者数	開催日
最新の天文学などについて，わかりやすく解説する（全６回）	どなたでも	127 人	主に奇数月の最終日曜日

エ　親子天文博士

回	内　容	対　象	参加者数	開催日
1	親子で望遠鏡の使い方と観測方法を学ぶ	小中学生と保護者	6 人	6 月 3 日
2			8 人	9 月 30 日

オ　夏・冬休み天文教室

	内　容	対　象	参加者数	開催日
夏	天体望遠鏡の製作とプラネタリウム，天文台，常設展示室見学	小学４年～中学生	10 人	7 月 31 日
冬			（10 人）	12 月 27 日

カ　出張天文教室（移動観測会,講座）

内　容	対　象	参加者数	開催日
江丹別若者の郷「親子天体観測会」	小学生以上の親子	17 人	8 月 4 日
キャンドルナイト in 旭川　天体観測	どなたでも	50 人	6 月 17 日
北星公民館　百寿大学天文講座	北星百寿大学生	67 人	10 月 3 日

キ　コズミックカレッジ

回	内　容	参加者数	開催日
1	ゴム動力飛行機の製作と試験飛行	(10 人)	8 月 5 日
2	モデルロケットの製作と打ち上げ	(10 人)	8 月 6 日

ク　天体観測

内　容	回　数	期　間
太陽黒点の観測	178 回	4 月～3 月

（2）プラネタリウム事業

天文知識の啓発・普及を目的に，旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般投影を中心に，学習番組投影，幼児番組投影，イベント的な特別投影を展開している。

◎プラネタリウム総観覧者数（※小人は幼児を含む）　単位:人

	個　人					団　体					人数
月/区分	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	合計
4	1,710	41	1,524	118	3,393	58	142	113	70	383	3,776
5	1,944	109	1,191	157	3,401	36	169	700	170	1,075	4,476
6	1,135	27	706	89	1,957	20	152	1,218	254	1,644	3,601
7	1,510	45	1,214	162	2,931	15	0	1,509	238	1,762	4,693
8	1,914	65	1,286	190	3,455	98	3	1,010	292	1,403	4,858
9	1,271	24	805	151	2,251	116	22	973	231	1,342	3,593
10	1,085	22	833	139	2,079	104	5	214	190	513	2,592
11	1,647	25	1,233	86	2,991	76	1	511	150	738	3,729
12	576	18	449	63	1,106	0	0	457	42	499	1,605
1	532	20	334	71	957	0	0	22	5	27	984
2	702	17	347	80	1,146	19	0	17	0	36	1,182
3	1,460	82	1,141	163	2,846	14	0	118	64	196	3,042
年度計	15,486	495	11,063	1,469	28,513	556	494	6,862	1,706	9,618	38,131

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70 歳以上・引率者・介護者・視察）

※「団体」は団体料金適用者

◎プラネタリウム総観覧団体数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	13	24	38	50	37	46	26	33	15	2	3	10	297

ア　一般投影

日の入りから夜８時の空，そして日の出までの旭川の星空を中心に，約 40 分の星座解説を行う。担当者がそれぞれ番組を自作し，生解説による投影を行っている。

（投影番組）

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数
サン☆ＳＵＮ☆太陽	(３月)～４月	太陽	72 回
さがしてみよう！明るい惑星	５ 月 ～ ６ 月	金星・木星・土星	153 回
日食と月食	７ 月 ～ ８ 月	日食・月食	149 回
ひっそり輝く星座たち	９ 月 ～10 月	暗い星・目立たない星座	141 回
あの星までどれくらい？	11 月～12 月	星までの距離	106 回
星の動き	１ 月 ～ ２ 月	自転・公転	88 回

星占いの星座たち	３月～（４月）	黄道 12 星座	68 回
番組数	７番組	投影回数合計	777 回

※（　）内の月は別年度のため，投影回数には含まない。

（一般番組利用状況）

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	9	1,989 人	72 回
5	11	2,014 人	72 回
6	14	1,452 人	81 回
7	13	1,789 人	82 回
8	13	3,077 人	67 回
9	18	1,700 人	80 回
10	10	1,309 人	61 回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	7	1,577 人	60 回
12	3	484 人	46 回
1	0	474 人	36 回
2	0	572 人	52 回
3	3	1,430 人	68 回
合計	101	17,867 人	777 回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

イ　特別投影

（ア）学習番組投影　実施期間：通年

時間や天候など，制約が多い実天観測の代わりに，プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで，天体に対する理解を促す。

（投影番組）

対象	番　組　内　容	所要時間	投影回数
小学３年生	かげと太陽（太陽の１日の動きと影の出来方）	30 分	2 回
小学４年生	月と季節の星座（月の形と動き，季節の星座）	30～40 分	22 回
小学６年生	月と太陽（月の満ち欠け）	40 分	8 回
中学生	地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	40～50 分	2 回
	太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星,銀河系など）	40～50 分	8 回

（学習番組利用状況）　単位:人

	観覧者数（人）						団体数					
区分	小学生			中学生		合計	小学生			中学生		合計
月	3 年	4 年	6 年	「地球」	「宇宙」		3 年	4 年	6 年	「地球」	「宇宙」	
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	19	0	0	17	36	0	1	0	0	1	2
6	0	204	13	0	196	413	0	6	1	0	2	9
7	0	87	40	0	86	213	0	2	1	0	1	4
8	34	144	161	31	0	370	1	4	4	1	0	10
9	24	297	92	19	0	432	1	10	2	1	0	14
10	0	0	0	0	22	22	0	0	0	0	1	
11	0	96	82	0	0	178	0	2	1	0	0	3
12	0	0	0	0	111	111	0	0	0	0	3	3
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	58	847	388	50	432	1,775	2	25	9	2	8	46

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

（イ）幼児番組投影　実施期間：通年

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に，物語を多く取り入れた20分前後の番組を製作・投影している。

（投影番組）

番組タイトル	投影期間	テーマ
わんわんわん	4 月 1 日～4 月 30 日	冬から春の星座紹介，おおいぬ座，こいぬ座
夜空の動物園	5 月 1 日～6 月 29 日	春の星座紹介，動物星座
夏のほしとたなばた	7 月 1 日～8 月 31 日	夏の星座紹介，七夕伝説
かぐやひめ	9 月 1 日～10 月 29 日	秋の星座紹介，かぐやひめのお話
クリスマスのふしぎ	11 月 1 日～12 月 24 日	冬の星座紹介，クリスマスのお話
ふゆのせいざ	12 月 26 日～2 月 27 日	冬の星座紹介，エリダヌス座のお話
わんわんわん	3 月 1 日～3 月 31 日	冬から春の星座紹介，おおいぬ座，こいぬ座

（幼児番組利用状況）

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	3	1,286 人	30 回
5	4	1,508 人	30 回
6	12	1,289 人	28 回
7	30	2,241 人	34 回
8	13	733 人	11 回
9	12	1,176 人	30 回
10	10	715 人	21 回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	14	1,043 人	22 回
12	5	360 人	13 回
1	0	125 人	10 回
2	3	326 人	22 回
3	6	762 人	27 回
合計	112	11,564 人	278 回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

（ウ）特別番組投影

日頃,天体やプラネタリウムに興味のない人も楽しめるよう，天文以外の分野を取り入れた投影

（投影番組）

番組タイトル	内　容	観覧者数	投影日
ハロウィン特別企画「ちょうちんジャックと秋のほしぞら」	ハロウィンと星空に関するお絵かきやクイズのパネル展示をまわってもらい、その後プラネタリウムでこども達が描いた絵とクイズの解答を投影する特別番組。	(124 人)	10 月 7 日
クリスマス特別番組「聖夜の星空とクリスマス・キャロル」	クリスマスの音楽を流しながらクリスマスの日に旭川でみることができる星空の紹介や、クリスマス･キャロルのおはなしを朗読する特別番組。	(112 人)	12 月 16 日
春の特別番組「南半球の星空と物語」	ニュージーランドの星空と古くからポリネシアに伝わる伝説、マウイの物語を音楽とともに紹介する特別番組。	(62 人)	3 月 10 日
オーロラインワンダーランド（妖怪も驚くふしぎな科学実行委員会主催）	オーロラメッセンジャー中垣哲也氏を迎え，中垣氏のトークライブとともに，オーロラの美しい映像を全天周で投影する特別番組	508 人	1 月 27 日 1 月 28 日

（エ）ドームシアター　実施期間：通年

デジタル映像投影装置を利用し，全天周映像を上映する。

（番組利用状況）

番組タイトル	内　容	観覧者数	団体数	投影回数
ETERNAL RETURN -いのちを継ぐもの-	全天周デジタル映像、オート番組、宇宙の中で生まれるいのちの物語	(3,232 人)	21	168 回
―宇宙の旅人― Voyagers of space	全天周デジタル映像、オート番組、人類と宇宙の密接な関係についての物語	(2,592 人)	13	118 回

星の教室

プラネタリウム特別投影

6　学校連携事業

（１）科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ，サイエンスショーや理科実験・電子工作・木工作・地学実習などのメニューを実施

期　　間	通年（団体からの依頼があった都度に開催）
利用団体数	延べ 69 団体（利用者数：2,147 人）
テーマ	サイエンスショー・・・「炎と爆発の実験」など 理科実験・・・「入浴剤を作ろう」,「酸・アルカリの実験」など 地学実習・・・「宝石さがし」 木工作　・・・「木の小物入れ作り」 その他　・・・低温実験室体験など

（２）巡回実験教室事業

ア　巡回実験教室

小学校などからの要望に応じて職員が出向き，サイエンスショーや理科実験・工作などを行う。

期　　間	通年
利用団体数	延べ 9 団体（利用者数：486 人）
テーマ	サイエンスショー・・・「元素のふしぎな実験」など 理科実験・・・「カラフル炎のキャンドル」など

イ　プラネタリウムの学校授業での活用

小中学校と連携し、プラネタリウムを活用した天文授業を開発・実施。

利用学校名	参加者数	開催日
旭川市立西神楽中学校 3 年生	（22 人）	11 月 15 日
旭川市立旭川中学校 3 年生	（38 人）	12 月 20 日
旭川市立神楽中学校 3 年生	（105 人）	12 月 22 日

ウ　総合学習関連事業

小・中学校の総合学習と関連した事業の開催

訪問先	テーマ	参加者数	開催日
春光小学校	土地のでき方	83 人	11 月 8 日
北星中学校	土地のでき方	85 人	12 月 19 日
北星中学校	なぜ,旭川には地震が少ない？	85 人	12 月 21 日
広陵中学校	上川盆地の生い立ち・サイエンスショー・講話	25 人	1 月 24 日

エ　職場体験学習の受け入れ

受け入れ校	参加者数	実施日
北海道教育大学附属旭川中学校	4 人	8 月 29 日
春光台中学校	1 人	10 月 5 日
神楽中学校	5 人	10 月 5 日
啓北中学校	3 人	10 月 11 日
旭川大学高等学校	1 人	10 月 26 日

（３）人材育成事業

ア　博物館実習の受入れ

博物館実習とは，学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習です。博物館法施行規則第 1 条に基づいて行われます。平成 20 年度からは科学館と博物館の両施設で一体的に実施しています。

(ア)実習期間

平成 29 年 8 月 21 日(月)から 8 月 27 日(日)まで（7 日間）

(イ)実習生受入人数：10 人

内　容	参加者数	開催日
大学生のワークショップ	147 人	8月27日
大学生のサイエンスショー	105 人	

イ　サイパル理科研修会

小学校教員のスキルアップを目的とした理科教育支援事業

回	内　容	対　象	延べ人数	開催日
1	恐竜はかせのトークライブ	教員	13 人	8 月 7 日
2	音の学習の教材（小 3 単元）		5 人	1 月 10 日

ウ　教育大学生の受入れ

教育フィールド研修Ⅰ	対　象	延べ参加者	期　間
	北海道教育大学 1 年生	102 人	6 月～9 月

エ　知育・理科遊び研修あそび研修会

幼稚園教諭・保育士・児童館職員等を対象とした，理科実験・工作の実技研修

対　象	延べ人数	開催日
道北地区児童館連絡協議会	22 人	9 月 26 日
北海道私立幼稚園協会旭川支部	68 人	1 月 13 日

7　共催事業

内　容	開催場所（科学館外）	参加人数	開催日
第47回彗星会議あさひかわ（彗星会議実行委員会との共催）	－	106人	6月10日,11日
みどりの回廊展（あさひかわ自然共生ネットワークとの共催）	－	562人	6月24日、25日
あさひかわ子どもの水辺親子体験（公園緑地協会との共催）	旭橋下	50人	7月22日
地学団体研究会旭川総会（地学団体研究会との共催）	大雪クリスタルホール	712人	8月25日～28日
カムイの大地ジオパーク構想バス見学会（地学団体研究会との共催）	サンタプレゼントパーク	20人	8月26日
		12人	8月27日
地学団体研究会事務局会議（地学団体研究会との共催）	札幌市	11人	9月10日
ミニマイコンカー教室（旭川工業高等学校との共催）	－	8人	10月14日、15日
特別企画「ミクロの世界」を体験してみよう（旭川医科大学との共催）	－	196人	10月21日,22日
先端科学移動大学（(一財）北海道青少年科学文化財団との共催）	－	61人	11月11日
科学ものづくりフェスタ（北海道教育大学との共催）	－	178人	12月2日
学で遊ぶ冬（サイエンスボランティア旭川との共催）	－	(1,260人)	1月7日
わくわくサイエンス（まなびピア）（旭川医科大学との共催）	－	156人	2月11日

8　その他貸室事業等

催事名		主催等	延べ人数	開催日
主な利用内容	貸室等利用	延べ107回	5,255人	
	くまげら会活動	女性木工サークル（31回実施）	(243人)	4月～翌3月
	環境地図作品展	環境地図教育研究会	(624人)	10月28日,29日
	日専連版画コンクール	日専連旭川	(1030人)	1月27日、28日
	健康日本２１	旭川薬剤師会	(205人)	2月18日

9　情報提供活動

（１）レファレンスルームの開放

設置・使用目的：各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに，生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用

備付け備品類：走査電子顕微鏡(係員が立会で使用)，双眼顕微鏡，インキュベーター，その他各種観察・実験器具

備付け資料など：科学関係図書・DVD 等，植物・昆虫・鉱物標本，動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル，昆虫などの生体他

（備品・資料・家具類などは一部を除き（社）旭川自動車学園からの寄贈による）

（２）ホームページの運用

運用目的：科学館についての情報提供を広く行うとともに，市民や利用者とのコミュニケーション活動を推進するために活用する。

主な掲載内容：科学館案内や各種事業活動の内容，募集情報，ミュージアムショップの紹介，研究成果など。

10　広報活動

科学館の周知，事業内容の PR と利用の促進を図るため，次の広報活動を実施した。

（１）広報誌「こうほう旭川市民」への事業案内，利用案内等の掲載。

（２）新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等報道機関その他媒体への情報提供，取材依頼。

（３）科学館利用案内リーフレット，パンフレット等の配布。

（４）各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校，公共施設等に配布。

（５）ホームページや Facebook を通じて利用案内や事業情報等を発信。

（６）「科学館報」，調査研究などの「研究報告」，旭川における１年間の天文情報をまとめた「天文略表」の発行，配布。

（７）レファレンスルームに科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。

Ⅲ　サイエンスボランティア旭川の活動

サイエンスボランティア旭川は，旭川市科学館の事業運営をサポートし，科学の普及活動を行う団体です。科学知識・技術の有無に関わらず，子供たちに科学のおもしろさや，科学を学ぶ楽しさを伝えたいという人たちが参加しています。

1　概　　要

・団　体　名　サイエンスボランティア旭川
・代　表　者　鈴木　紘一（平成 29 年度）
・設　　立　平成 16 年 5 月 15 日
・登録会員数　102 名（平成 30 年 3 月末日現在）
〔内訳〕　・案内説明員，事務局員，特別学芸員　　合計 102 名

〈お問合せ先〉〒078-8391　旭川市宮前１条３丁目
旭川市科学館内　サイエンスボランティア旭川事務局
TEL 0166-31-3016　FAX 0166-31-3310
E-mail:kagakukan@city.asahikawa.lg.jp
URL:http://asascience.blog.fc2.com/

2　平成 29 年度従事者数（半日単位）

月	案内説明員	特別学芸員	計	備　考
4 月	195 人／月	103 人／月	298 人／月	
5 月	223 人／月	80 人／月	303 人／月	
6 月	222 人／月	162 人／月	384 人／月	
7 月	232 人／月	127 人／月	359 人／月	
8 月	223 人／月	147 人／月	370 人／月	
9 月	225 人／月	97 人／月	322 人／月	
10 月	225 人／月	91 人／月	316 人／月	
11 月	199 人／月	111 人／月	310 人／月	
12 月	209 人／月	91 人／月	300 人／月	
1 月	168 人／月	110 人／月	284 人／月	
2 月	189 人／月	93 人／月	282 人／月	
3 月	240 人／月	88 人／月	328 人／月	
計	2,550 人／年	1,300 人／年	3,850 人／年	

3　活動の内容

（1）概要

科学館の運営・事業等の支援	常設展示機器運営・サポート・展示案内・説明，レファレンスルーム管理他。
自主事業の企画・実施	「科学で遊ぶ冬」,「日曜日も科学館」,「大人の簡単工作」,「会員研修」,「販売促進」,「出前ワークショップ」,「親睦活動」の開催。教育大学旭川校等からの学生ボランティア受入。 ※「科学で遊ぶ冬」は７共催事業（3）で記載
ミュージアムショップ関連	科学館１階ミュージアムショップの一部でオリジナル商品を販売。

（２）自主事業詳細（主なもの）

ア　日曜日も科学館「ワークショップ」

簡単な科学実験や工作などのワークショップを主に未就学児・小学生を対象に日曜日，館内の様々なスペースを活用して開催しています。

内　容	参加者数	開催日
砂鉄観察，バタバタふくろう，おゆまるで遊ぼう，ぐるぐるゴムまき車，数学で遊ぼう，光る秋の星座絵，くるくる UFO，10 円を磨こう，びっくりゴマ２号，お魚の輪っかくぐり他	3,263 人	主に毎日曜日（合計 66 回）

イ　大人の簡単工作

大人を対象にした誰でもできる工作

内　容	参加者数	開催数
立体視めがね＆レジン，木のラック＆スノードーム	22 人	３回開催

ウ　販売促進

ミュージアムショップで販売する科学の理解・普及・学習を促進するオリジナル商品の開発と販売

内　容	参加者数	開催数
アイロンビーズ，すなえ，スポンジシート体験，スタンプ工作	292 人	12 回開催

エ　出前ワークショップ

依頼先へ行き実施するワークショップ

内　容	参加者数	開催日
神居再発見講座（神居公民館）	9 人	9 月 20 日

オ　わくわくワーク

来館者が気軽に体験し持ち帰ることができるワークショップ

内　容	参加者数	開催数
サーモテープ，方位磁石，岩石の磁性，宝石見つけ，電磁石，ミルクパック工作	562 人	19 回開催

カ　団体対応

団体向けのワークショップ

内　容	参加者数	開催数
くるくるかわり絵	20 人	6 月 3 日
	46 人	6 月 4 日

日曜日も科学館

コズミックカレッジ

Ⅳ　旭川市科学館利用案内（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

1　観覧料

中学生以下無料です。大人・高校生の方が博物館の常設展示，科学館の常設展示室・プラネタリウムをご覧になるときは，次の観覧料が必要になります。

科学館		博物館	観　覧　料　（円）			
常設展示室（１日）	プラネタリウム（１回）	常設展示室（１日）	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●			400	320	250	200
	●		300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
●		●	500	400	300	240
	●	●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は，同じ料金の方が 20 名以上の場合です。
※次に該当する方は，観覧料が免除となります。
①　旭川市内在住の満 70 歳以上の方（科学館は鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満 70 歳以上の方も）
②　身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）
③　介護保険法に定める要介護者の方と介助者（介助対象者と同人数まで）
④　学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生 20 名以上の団体は，科学館のみ観覧料を５割減額します。

次のパスポートをお買い求めいただいた方は，利用開始された日から１年間，対象施設を何度もご覧いただけます。

種　　類	対　象　施　設	料金（円／枚）	
		大　人	高校生
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,000	600
博物館・科学館パスポート	博物館の常設展示 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,400	900
動物園・科学館パスポート	旭山動物園 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,820	

※上記パスポートは科学館の受付（動物園・科学館共通パスポートは旭山動物園のチケット販売所でも）又は市内公共施設の売店などでもお買い求めいただけます。また，博物館の受付では博物館パスポートと博物館・科学館パスポートの２種類のみお買い求めいただけます。
なお，特別展につきましては，その都度教育委員会が定める額となります。

２　開館日等

（１）開館日数

開館日は 319 日間，休館日は 46 日間（うち，保守点検休館日は８日間）

（２）休館日

毎週月曜日（当該日が祝日に当たるときは，休日を経過した最初の日。ただし６月から９月の期間を除く。）

年末年始（12 月 30 日から翌年の１月４日）

７月及び８月を除く月末の平日（保守点検休館日，職員は勤務日となる。）

（３）臨時開館日

（２）休館日のうち，5 月 1 日（月），12 月 29 日（金），1 月 2 日（火）及び 3 月 30 日（金）

（４）開館時間

開　館　午前 9 時 30 分

閉　館　午後 5 時（観覧のための入館は午後 4 時 30 分まで）ただし，8 月 11 日～15 日は午後 8 時まで（入館は午後 7 時 30 分まで）延長するほか，必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長します。

（５）交通の御案内

バスを御利用の場合

ＪＲ旭川駅前「27 番のりば」から旭川電気軌道バス 82 番線「南高行」又は 84 番線「ひじり野１の１行」，または「17 番のりば」から旭川電気軌道バス 33 番線「東光 16 条 5 丁目行」乗車「科学館前」で下車します。

ＪＲを御利用の場合

ＪＲ旭川駅から徒歩 25 分又は，ＪＲ旭川四条駅から徒歩 15 分かかります。

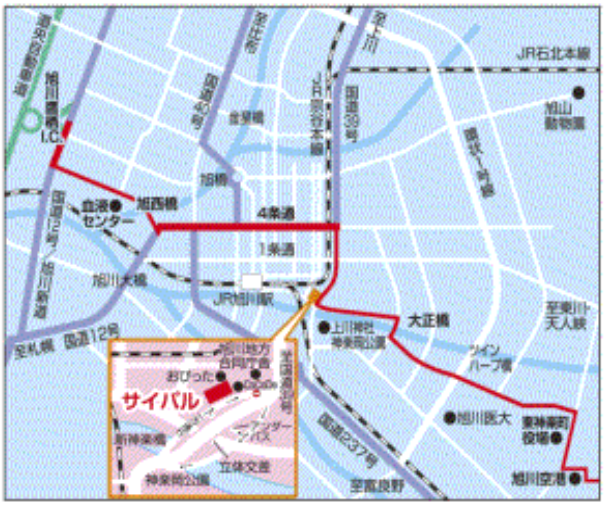
高速道路を御利用の場合

道央自動車道旭川鷹栖 I.C. から 25 分又は，道央自動車道旭川北 I.C. から自動車で約 45 分かかります。

飛行機を御利用の場合

旭川空港より車又は旭川電気軌道バス空港線「宮前通東」まで約 25 分かかります。

（６）周辺地図



旭川市科学館の愛称「サイパル」の由来

「サイパル」とは SCIENCE（科学）と PAL（仲間，友達）を組み合わせた言葉です。また，いろんな科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。

新しい科学館の建設地の北彩都（きたさいと）あさひかわの「彩」もイメージしています。科学に親しみ，科学を通して交流の輪が広がってほしい。そんな願いが込められています。

旭川市科学館・マスコットキャラクター
「コロッ・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに，古くから欧米では「学問の神様」として扱われアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

コロッ・クルは，アイヌの伝承に登場するコロポックルからネーミングされました。

平成 30（2018）年

旭川市科学館報　Vol.10

平成 30 年 12 月発行

発　行　者　旭川市科学館
旭川市科学館　〒078-8391　旭川市宮前１条３丁目３番３２号
TEL 0166-31-3186 FAX 31-3310
ホームページ　http;//www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/
メールアドレス　kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp